

# 盛岡市猪去地区におけるハクビシンのねぐらの利用実態と行動圏及び行動時間帯について —効果的な被害防除対策を目指して—

## Home range and daily activities of masked palm civets (*Paguma larvata*) in rural settlement of Morioka, Iwate Prefecture, Japan

○ 福島良樹\* 原科幸爾\*\*  
FUKUSHIMA Yoshiki HARASHINA Koji

### 1. 背景と目的

岩手県内では、2009年以前からハクビシン (*Paguma larvata*) が分布域を拡大しており (岩手県, 2012) 各地で農作物被害を引き起こしている。しかし、現在は大型哺乳類への対策が優先されており効果的な対策がとられているとは言い難い (紫波町, 2012)。また、本種についての既往研究には、山間部における行動圏 (関・小金澤, 2010) や農耕地・住宅地周辺におけるねぐら (永島, 2011) についてのものがあるが、里山地域における行動圏についての研究は十分であるとは言えず不明な点が多い。更に、一般的に本種は夜行性であると言われているが (農林水産省, 2008)、東京都の個体は日中も行動しており (板橋区, 2015)、完全な夜行性であるか疑問が残る。

そこで本研究では、本種の特になぐらに着目した行動圏と行動時間帯を特定することで、本種の被害に対する効果的な対策のために必要な知見を得ることを目的とした。

### 2. 調査方法

本調査は岩手県盛岡市西部の山麓部に位置する猪去地区 (以下、猪去) で行った。

#### (1) 追跡個体の捕獲と追跡調査

捕獲した個体に発信機を装着した。追跡にはラジオテレメトリーを使用し、ねぐらの特定と行動の追跡及び行動開始・終了時刻の記録を行った。なお、行動圏を推定には土地選好性の解析のために固定カーネル法と、行動圏の面積の比較のために最外郭法 (以下、MCP) を使用した。

#### (2) 土地選好性の解析

追跡個体の土地選好性を調査するため、モンテカルロ法による解析を行なった。

### 3. 結果と考察

#### (1) 追跡個体の捕獲

2015年4月からオス2頭とメス2頭を追跡していたが、7月末を最後に電池切れにより追跡ができなくなったため、9月にオス1頭、12月にメス2頭を捕獲した。

#### (2) ねぐらについて

合計27のねぐらを確認し、これらを人工建造物である「資材庫・廃屋」、林内等に人為的に放置された「残材」、非人為的空間である「天然」の3つに分類した。人為的要因によるねぐらである「資材庫・廃屋」と「残材」の合計が地点数・利用回数共に過半数を占めており (図-1, 図-2)、ハクビシンは人工的なねぐらを好むことが判明した。

#### (3) 行動圏の面積及び土地選好性について

行動圏の面積の比較のため、本研究及び既往研究の行動圏 (MCP) の面積を示す (表-1)。本研究の対象個体の行動圏は、岩手県住田町の住宅地・農耕地で行われた永島 (2011)

の結果と同程度であったが、栃木の高標高域で行われた関・小金澤 (2010) の研究よりも小さか

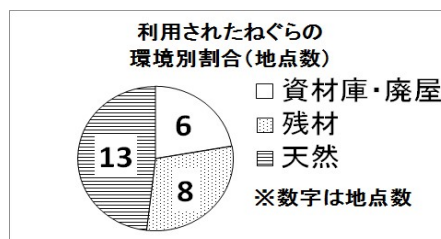


図-1 ねぐらの環境別割合(地点数)

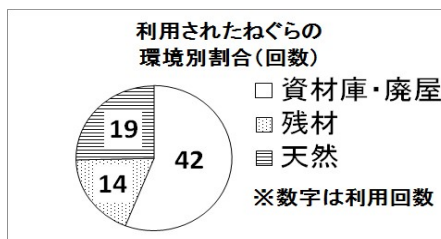


図-2 ねぐらの環境別割合(回数)

\*岩手大学大学院農学研究科 Graduate School of Agriculture, Iwate University

\*\*岩手大学農学部 Faculty of Agriculture, Iwate University

[キーワード] 獣害, 生態系, 野生動物管理, 外来種

った。このことは、里山地域は繰り返し利用される資材庫のようなねぐらが多いため、ハクビシンがこのようなねぐらから離れなかったことが要因であると考えられる。

モンテカルロ法による土地選好性の解析の結果を示す(表-2)。全ての個体が選好した分類は存在せず、土地選好性は個体差が大きい結果となった。このことから、森林を好む個体と住宅地を好む個体が存在することが分かった。

#### (4) 行動時刻の季節変化について

若干の誤差があるが、日の出前に行動を終了し(図-4)、日の入り後に行動を開始することが判明した(図-5)。このことから、対象地のハクビシンは完全な夜行性であると考えられる。

### 4. 効果的な被害防除対策に向けて

ハクビシンの行動圏は個体差が大きいため、農耕地に出没する個体の駆除が被害防除を行う上で重要である。また、夜行性であるため直接的な追い払いではなく、出没しにくい環境づくりが重要である。特に、資材庫を積極的に利用することが判明したため、資材庫に侵入されないよう出入り口や穴を塞ぐなどの適切な管理が必要であると考えられる。

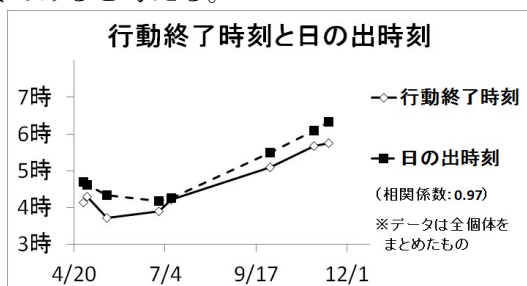


図-4 行動終了時刻と日の出時刻

表-1 本研究及び既往研究での行動圏の面積

調査地	個体名	MCPIによる面積(ha)
	M1	117.3
	M2	77.9
	M3	60.2
	盛岡市猪去	F1
	F2	24.4
	F3	0.02
	F4	5.5
	岩手県住田町	永島(No1:10月)
永島(No2:10月)		109.9
永島(No2:11月)		125.6
栃木県の高標高域	關ら(7月から9月)	1292
	關ら(10月から12月)	830
	關ら(1月から3月)	5
	關ら(4月から6月)	1546

表-2 モンテカルロ法による土地選好性の解析

	果樹園	住宅地	森林	湖沼・河川	その他
M1	*(+)	**(+)	0	Nothing	**(-)
M2	**(-)	**(+)	**(+)	Nothing	**(-)
M3	**(-)	**(-)	**(+)	0	**(-)
F1	**(-)	0	0	**(-)	0
F2	0	**(-)	0	Nothing	**(-)
F3	**(-)	Nothing	**(-)	Nothing	**(+)
F4	**(-)	**(-)	**(+)	Nothing	**(-)

(凡例)

\*\*(+):  $\alpha < 0.01$ で有意

\*(+):  $\alpha < 0.05$ で有意

\*\*(-):  $\alpha < 0.01$ で負に有意

0: 有意な選好性は見られない

Nothing: 行動圏に存在しなかった

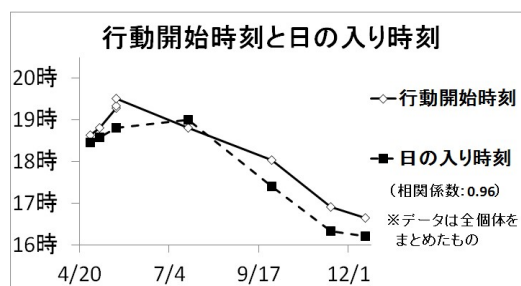


図-5 行動開始時刻と日の入り時刻

### 引用文献

- 岩手県 (online). ハクビシン目撃・捕獲情報 (平成 24 年 11 月末時点); [http://www.pref.iwate.jp/dbps\\_data/material/\\_files/000/000/002/901/hakubisin2411.pdf](http://www.pref.iwate.jp/dbps_data/material/_files/000/000/002/901/hakubisin2411.pdf), 閲覧日=2016. 1. 6.
- 紫波町(online).紫波町鳥獣被害防止計画.2012; <http://www.town.shiwa.iwate.jp/kousya/kako/tyozyu.pdf>, 閲覧日=2016. 1. 6.
- 關義和・小金澤正昭 (2010), 高標高域におけるハクビシンオス 1 頭の行動圏の季節変化, 日本家畜管理学会誌・応用動物行動学会誌 46(2), 69-76.
- 永島百合 (2011), 農耕地周辺に出没するハクビシンのねぐらの環境特性, 岩手大学農学部卒業論文 (未刊行).
- 農林水産省 (online). 野生鳥獣被害防止マニュアルーハクビシンー 平成 20 年 3 月版; [http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/h\\_manual/h20\\_03b/pdf/data0.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/h_manual/h20_03b/pdf/data0.pdf), 閲覧日=2016. 1. 6.
- 板橋区 (online). 区内でハクビシンが目撃されています; [http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c\\_kurashi/068/068384.html](http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/068/068384.html), 更新日=2015. 3. 30, 閲覧日=2016. 1. 6.